

タイロータリー米山学友会について

タイロータリー米山学友会会長
テイシャシャイニラン ワシン様

タイ国籍の米山奨学生がタイに帰国して集まって学友会で2012年に設立、2021年2月現在78名在籍しています。奉仕活動を中心に活動しています。

2020年10月にチェンマイ県中部から車で5時間離れている貧困村の小学生から高校生が生活するヒウアイナムカアウ教会学生寮へ、タイ学友会が集めた古着、防寒着、古いPCは学生寮に送り、量販店で食材、薬、日用品、文房具などを購入し持って行きました。

2020年3月、タイ国内において新型コロナウイルスの感染が拡大していることから、タイ米山学友会では募金活動を開始。会員からの寄付金と学友会からの資金を合わせた50,000 バーツ(約16万6千円相当)をタマサート大学病院へ送り、医療機器購入費に充ててもらったこととしました。

2019年11月、観光客に大人気なパタヤビーチのクリーニング活動を行いました。

2019年6月、相模原中RCの「空飛ぶシューズ計画」に協力しました。相模原中RCから約200則の靴と学友会会員と家族から集めた12,396 バーツの募金で食料品などを区乳し、ラジャブリー県にあるカレン民族のこどもたちが通っている学校に寄付しました。



コンケン県バーンノーントンラング・ノーンパイガーム小学校 支援活動の報告

タイロータリー米山学友会
カムピラー アイラダー様

私は2年前にタイに帰国し、村の中にある両親の雑貨店を手伝っていますが、ある日、小学生たちがボロボロのマスクをかけて学校に通っているのを見ました。それを見て何かできることはないか、でも、自分の力だけでは足りないと思っていたところに良いタイミングでワシンさんから連絡がありました。子供たちへの支援を相談しました。今回はタイ米山学友会と日本のロータアンの方々からの支援金、支援品のマスクなど誠にありがとうございます。

コロナ禍におけるコンケン県バーンノーントンラング・ノーンパイガーム小学校支援活動の報告
幼稚園から小学6年まで81人在籍。

村民の収入が少なく、生活が困窮している。生活のためバンコクに働きに行っていたがコロナ感染拡大によりバンコクがロックダウンし、仕事を失った村民が多い。川魚を獲って、山のキノコやタケノコで調理しているが毎日十分な栄養を摂るのが難しい。生徒81人に支援物資セットを渡しました。

内容は、食材(乾燥食品、缶詰)、日用品(マスクとアルコールジェル)、家庭医薬品です。

予算は、タイ学友会から約7万円、日本のロータリークラブ、ロータリアン個人からのご支援、計5万円です。

新型コロナウイルス感染拡大のため、生徒はオンライン授業を受けていますが、生徒が登校する日に支援物資セットを渡しました。

